

# 記者と作家の あいだで

～フィクションとノンフィクション～

外岡 秀俊（作家・元朝日新聞記者）

2019年 7月7日 日

14:00～16:00 開場 13:30

塩尻市市民交流センター（えんぱーく） 3階・多目的ホール

定員/60人（先着順） 参加費/無料 申込開始/6月9日（日）

※本の販売とサイン会があります。

## 申込方法

本館総合カウンター、電話(0263-53-3365)、メールのいずれか。  
メールの場合は、次の内容をお送りください。

- 宛先 tosho@city.shiojiri.lg.jp  
件名 「7/7本の寺子屋申込」  
本文 1参加者全員の氏名(フリガナ)  
2代表者電話番号  
3お住まいの地区  
4この講演会を知ったきっかけ(新聞、広報など)



外岡 秀俊（そとおか ひでとし） 作家・ジャーナリスト。1953年札幌生まれ。77年、朝日新聞社入社。学芸、社会部などを経てニューヨーク特派員、欧州総局長、東京編集局長。2011年早期退社で札幌に戻り、フリーの立場でジャーナリスト・作家活動続ける。ジャーナリストとしての仕事に「地震と社会」（上・下、みすず書房）、「3.11 複合被災」（岩波新書）など。小説は1976年に本名で「北帰行」（河出書房新社）、86年に中原清一郎名義で「未だ王化染はず」（福武書店）を発表。朝日新聞社退社後の2014年に「カノン」（河出書房新社）、15年に「ドラゴン・オプション」（小学館）、17年に「人の昏れ方」（河出書房新社）を、いずれも中原名義で発表している。